

「タイ王国における投資経験」

2025年2月20日

株式会社フジクラ

執行役員

電子部品・コネクタ事業部門長

福原 純二



本社

社名	株式会社フジクラ
本社所在地	東京都江東区木場1-5-1
代表者	取締役社長CEO 岡田 直樹
創業	1885年(明治18年) 2月
設立	1910年(明治43年) 3月18日
資本金	530億円 (2024年3月31日)
従業員数	50,254名(連結) (2024年3月31日)
売上高	7,998億円(連結) (2023年度)

- 1885年、藤倉善八による個人企業として創業
- アーク燈を見て、電気の時代を予見



藤倉善八



庶民が初めて見たアーク燈。その明るさに驚く



- 女性用ヘアバンド「根掛け」の技術を電線製造に活用
- 独立系である当社が強大な競合社に比し生き残る術は「技術」しかない



1985年

藤倉善八が個人企業として創業

1901年

藤倉電線護謄合名会社設立

1910年

藤倉電線株式会社設立

藤倉合名会社防水布製造所(現 藤倉コンポジット)設立

1938年

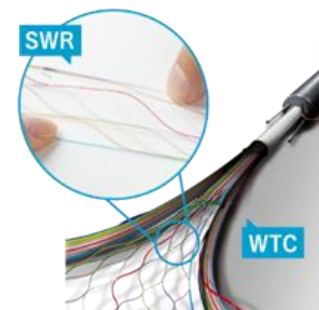
藤倉化学工業(現 藤倉化成)設立

1984年

フジクラタイランド社設立

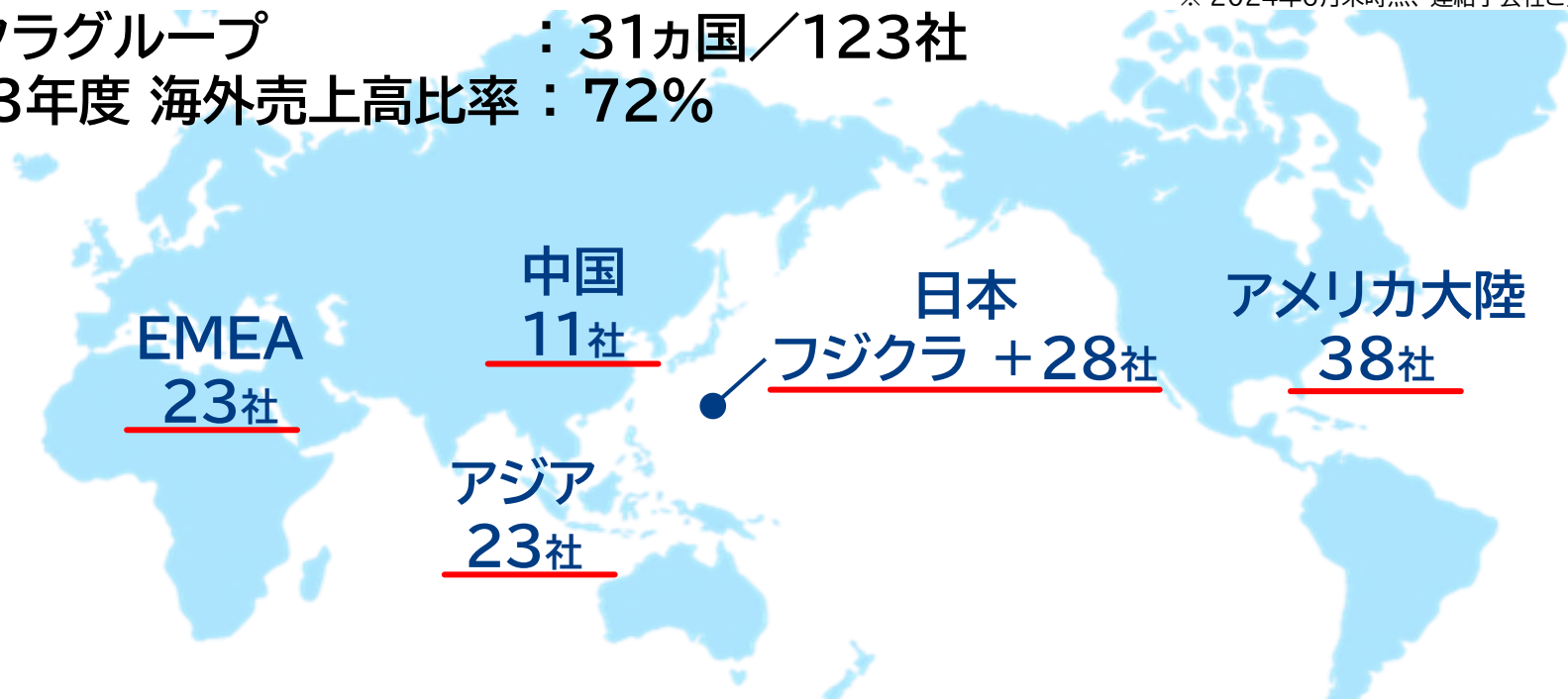
1992年

社名を「フジクラ」に変更

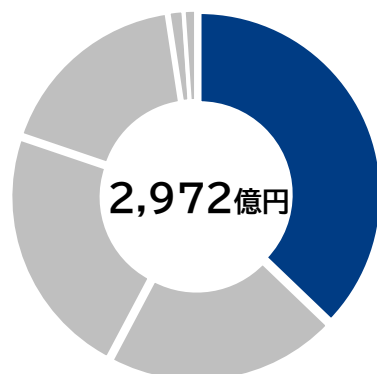


※ 2024年6月末時点、連結子会社と持分法適用会社合計

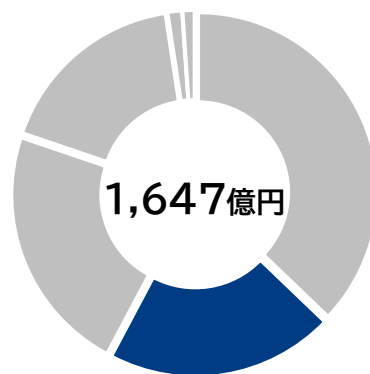
- フジクラグループ : 31カ国／123社
- 2023年度 海外売上高比率 : 72%



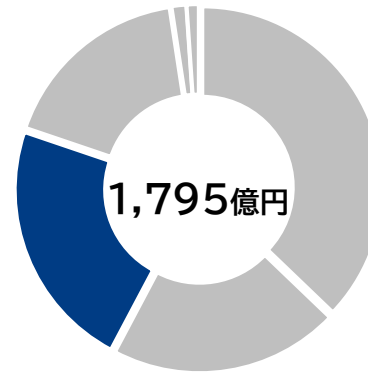
情報通信



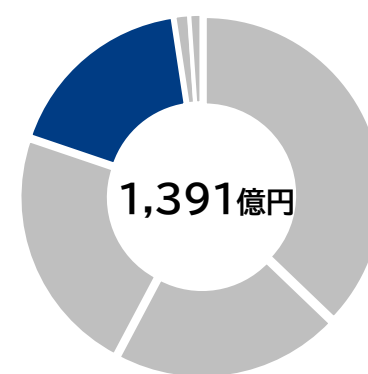
エレクトロニクス



自動車

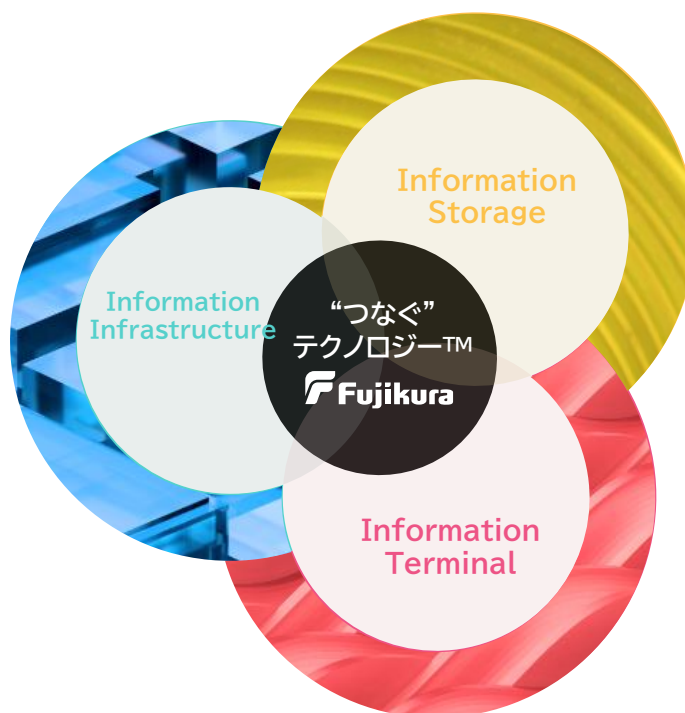


エネルギー



情報インフラ

革新的な光技術をベースとした光配線ソリューションと将来の高速無線通信技術によって、高度情報化社会実現のためのインフラ基盤の構築に貢献。



情報ストレージ

ユニークな電子部品技術や超高密度光配線技術で、膨大な情報をストレージするデータセンタの構築に貢献。

情報端末

高精細な電子部品や配線・実装技術で、高速大容量かつ高機能な情報端末の進化に貢献。次世代車も情報端末と捉える。

情報インフラ・情報ストレージ・情報端末の“つなぐ”テクノロジー™で、「技術のフジクラ」による顧客価値創造と社会貢献を目指す。

電子部品・コネクタの高密度・高精細・多機能化に高度な製造技術で応える。
優良な顧客のパートナーとして最先端アプリケーションの創出に貢献し、事業拡大を図る。

速い技術革新にフジクラのユニークな技術で対応

R&Dから移管して
事業拡大

モーターのプレゼンス
をロボットに展開

情報端末



PC タブレット スマホ ウェアラブル AR/VR コネクテッドカー ドローン 監視カメラ

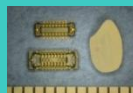
メンブレンスイッチ



極細同軸Assy



超小型コネクタ



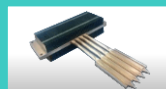
FPC



MEMS 半導体センサ



大容量ヒートパイプ



フィルムセンサ

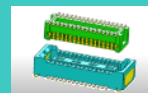


情報ストレージ



データセンタ

HDDコネクタ



大容量HDD
アクチュエータ



サーバー 冷却用サーマル製品



医療機器

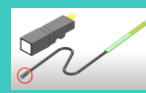


医療機器

MEMS
半導体センサ



CMOS内視鏡



酸素センサ



極細同軸Assy



MRIコイル



コネクタ



産業機器



産業機器

タイ王国の拠点Map（製造：9カ所）

FETL-N1



FPC実装

FECL-NVK



電子ワイヤ



打抜金型



精密金型

DDK-T

第1工場



第2工場



コネクタ

FECL-LPN



HDDアクチュエータ



メンブレンスイッチ



サーマル

FATL



自動車ワイヤハーネス

FETL-A1/HQ



FPCベア・実装

FETL-K1

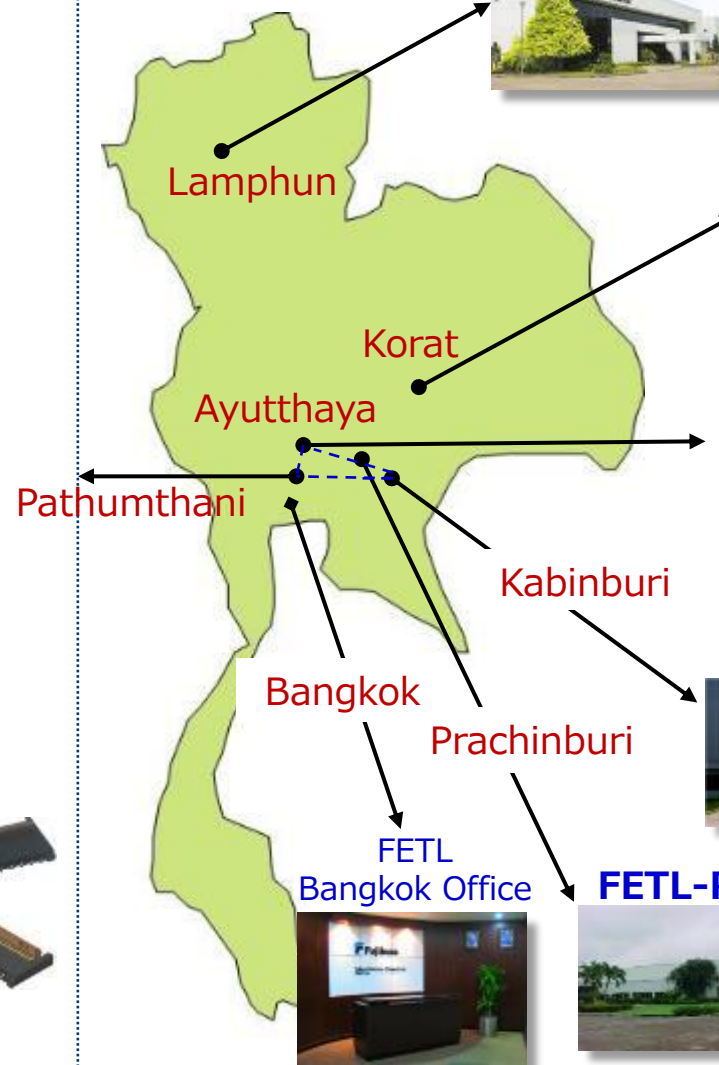


FPCベア

FETL-P1



FPC実装



FETL
Bangkok Office



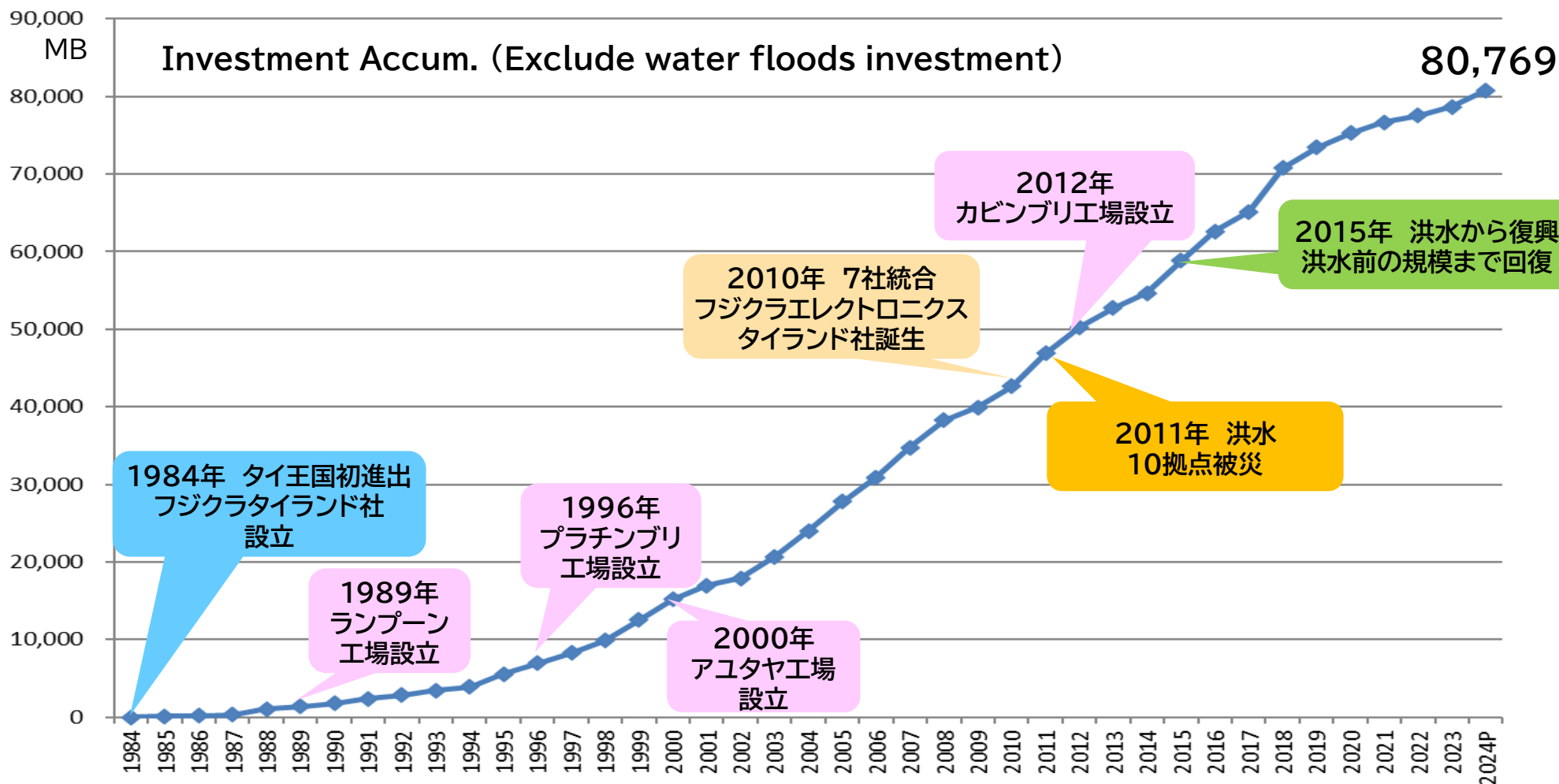
タイ王国累積投資額と歴史

1984年以降の累積投資額
約808億バーツ

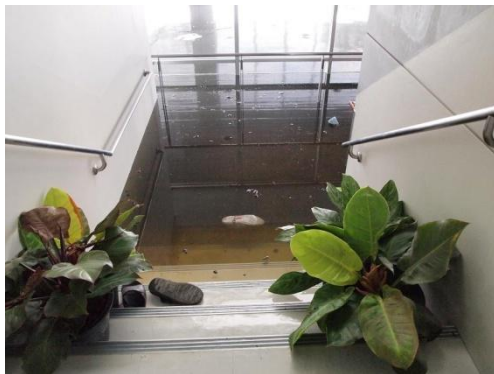
2023年度売上額
約223億バーツ

2025年1月の人員数
約14,400人

Investment Accum. (Exclude water floods investment)



2011年10月タイ王国の洪水



工場敷地内で高さ2.0m、
工業団地の道路で2.3~2.5m
13拠点のうち10拠点が被災

復興開始は2011年11月末

Screening point employee



Screening point visitor and contractor



Sanitizing gate for visitor and contractor



ATK for visitor and contractor



ATK for employee



VACCINE



止めることが出来ない重要なラインではバブルアンドシールで従業員を外界と完全隔離。

タイ王国に進出した1984年以降の40年間、フジクラグループはBOIから色々な恩典と支援を受け、フジクラエレクトロニクス事業のメイン工場として安定したサプライチェーンを確立している

工場建設・拡張

各拠点について適宜相談

税務上の恩典

法人税、輸入関税などの優遇

労働者の獲得

近隣諸国から労働者を獲得

技術者派遣への恩典

技術者の入国・就労許可取得

BOI新投資政策の強化ポイント

- 国家発展に重要な産業への投資奨励措置
- 競争力創出のための投資奨励措置
- 既存の事業拠点の継続、拡大のための投資奨励措置
- ビジネス拠点移管を奨励する措置
- スマート、サステナブル産業を推進する奨励措置
- 中小企業投資奨励措置
- ターゲット地域(経済特区など)への投資奨励措置

今後の投資強化分野

Smart Factory, Automation, Robotic, DX

タイ王国・ASEANの子会社統括機能

Smart Factory, GX 効率化投資
(再エネ・省エネ・創エネ投資)

フジクラのエレクトロニクス事業は、勤勉な国民性と豊かな労働力を求め、1984年にタイ王国に進出。

タイ王国進出以降、法令・諸制度の充実、空港の建設、道路網、物流網の充実、投資環境と恩典制度が充実。

進出した多くの企業がBOIをはじめ、タイ王国省庁の方々の支援を受けられる環境が整っており、タイ王国でのビジネスの魅力は大きく上昇している。

当社は、競争力の向上、サステナブルな事業運営に向け、最新鋭設備の導入、DXやGX投資などを行い、タイ王国において持続的成長を目指していく。

